

第40期第13回理事会議事録

日 時：2019年10月28日（月）17時30分～19時30分
会 場：福岡国際会議場（福岡県福岡市）504+505会

議室

出席理事：岩崎俊樹，瀬上哲秀，青柳曉典，氏家将志，
 榎本 剛，佐藤 薫，塩谷雅人，竹見哲也，
 坪木和久，仲江川敏之，中村 尚，平松信昭，
 廣岡俊彦，堀之内 武，余田成男，渡部雅浩，
 以上16名
 （理事数現在20名）

出席監事：鈴木 靖，高谷康太郎 以上2名

その他の出席者：倉内利浩（秋季大会実行委員長），
 勝山 税，志村 隆，横手嘉二（事務局）

議 題

1. 協議事項

- 1) 第40期第12回理事会議事録の確認
 議事録案について，全会一致で承認した。
- 2) 会員の新規加入等について
 新入会18，退会6を全会一致で承認した。2019年
 10月11日現在，会員数3,395名で個人会員は3,182
 名。

2. 報告事項

1) 業務執行理事の報告

庶務担当執行理事…以下の内容が報告された。

・転載許可

なし。

・後援名義等使用依頼受付

①名称：原子力総合シンポジウム2019

主催：日本学術会議総合工学委員会原子力安全に
 関する分科会

期日：2019年12月2日

場所：日本学術会議 講堂

名義：共催

②名称：第35回北方圏国際シンポジウム

主催：北方圏国際シンポジウム実行委員会

期日：2020年2月16日～21日

場所：北海道紋別市（市民会館・文化会館・市立
 博物館）

名義：後援

③名称：第57回アイソトープ・放射線研究発表会

主催：アイソトープ協会

期日：2020年7月7日～9日

場所：東京大学弥生講堂

名義：協賛

④名称：一般社団法人日本太陽エネルギー学会 太 陽光発電部会 第28回セミナー

主催：一般社団法人日本太陽エネルギー学会 太
 陽光発電部会

期日：2020年11月20日

場所：東京理科大学 森戸記念館第1フォーラム

名義：協賛

・寄附者リスト（2019.9.19～2019.10.28）

なし。

・各受賞候補者の推薦募集のHP掲載時期についての
 報告。推薦募集の学会HPへの掲載は，これまで天
 気掲載と同時期に行っていた。周知を早く行うとい
 う観点から，次回以降は学会HPへの掲載は天気の
 原稿が確定し次第行うこととする。

・夏の学校の実施報告が気象夏の学校世話人から岩崎
 理事長へ提出された。

・2019年度秋季大会表彰式進行表の確認。

会計担当執行理事…以下の内容が報告された。

・2019年9月分の収支及び現預金検査報告。

・2020年度秋季大会交付金の増額申請。

企画調整担当執行理事…以下の内容が報告された。

・2020年1月～2月頃に支部長会議を予定しており，
 日程調整中。

2) 委員会報告

講演企画…以下の内容が報告された。

・2019年度秋季大会の開催状況の報告。受付の事前登
 録期間を延長したことにより，受付時の混雑がほぼ
 解消された。

・日本地球惑星科学連合2020年大会における気象学会
 主催・共催セッションの応募状況の報告。主催セッ
 ション，共催セッションの申込がそれぞれ1件，12
 件あった。

・電子版予稿集の自作を検討している。試作品を作成
 し，プログラム類の動作確認をしている段階。自作
 することで，印刷業者とのやりとりが減るため，経

費削減が期待される。

天気編集…以下の内容が報告された。

- ・Vol. 66 No. 9, 10 (2019年9, 10月) の掲載記事と, Vol. 66 No. 11, 12 (2019年11, 12月), Vol. 67 No. 1 (2020年1月) の予定記事の報告。
- ・2020年印刷契約について, 組版料の減額を目的に写研フォントの指定を除外することとした。
- ・別刷配送方法の見直しについて, 業者発の別刷発送を天気編集事務局発送とすることで経費削減を達成した。
- ・現在行っている表紙無し別刷30部の無償提供について, 原則有料, 掲載料徴収記事は表紙無し別刷30部を無償提供とする見直し案が提案された。提案に対して, 理事会はこれを承認した。最終的な決定は天気編集委員会で行う。変更は, 2020年1月の天気投稿案内の改訂に合わせて実施する。

気象集誌編集…以下の内容が報告された。

- ・2020年掲載論文より, J-Stage 上での XML 組版に移行することにした。これにより, PDF や html での論文表示が可能になる。XML 対応は Plan-S でも要請されており, ジャーナルとしての必要な要件になりつつある。これに伴う Article Processing Charge (APC) を2020年投稿文より2万円値上げすることが提案された。XML 対応は必要な措置であるとして, 理事会は提案を全会一致で承認した。

SOLA 編集…以下の内容が報告された。

- ・論文の投稿状況。
- ・特別号「2017・2018年の豪雨イベント」について, 23編の投稿があった。そのうち公開論文, 印刷中の論文はそれぞれ11編, 1編。
- ・Years of Maritime Continentに関する気象集誌との合同特別号(その他国外ジャーナルとの連携も)を企画, 論文投稿受付中。2020年9月までに投稿したものが APC 減免対象となる。

気象研究ノート…以下の内容が報告された。

- ・南岸低気圧をテーマにした気象研究ノートを編集中。
- ・10月31日に委員会を開催予定。

表彰関連…以下の内容が報告された。

- ・今年度, ある一つの表彰に関する推薦委員会において被推薦者の審査漏れが発生したことについて, お詫びと対応策に関する記事を天気11月号に掲載予定。

気象災害…以下の内容が報告された。

- ・10月19日に防災学術連携体等が主催するシンポジウム「あなたが知りたい防災科学の最前線—激化する

気象災害に備える—」が開催された。日本気象学会から坪木理事が台風に関する講演を行った。

- ・10月27日に「フェーズドアレイレーダーによる気象災害研究の新展開」をテーマにメソ気象研究会を開催した。
- ・2019年台風第15号及び第19号に伴う突発災害の科研費について, 竹見理事が中心となって気象学会として対応している。
- ・12月24日に防災学術連携体による2019年台風第19号に関する研究会が予定されている。気象学会からの参加を調整中。
- ・2020年3月には, 日本学術会議公開シンポジウム・第9回防災学術連携シンポジウム「低頻度巨大災害を考える」が開催される予定。台風もテーマに含まれる。
- ・2020年5月の日本地球惑星科学連合2020年大会のパブリックセッションでは, 災害について取り扱われる予定。台風をテーマに気象学会からの参加を検討中。

学術…以下の内容が報告された。

- ・10月28日に委員会を開催した。
- ・第24期日本学術会議において, 地球惑星科学委員会地球・惑星圏分科会地球観測将来構想小委員会が第23期に引き続き設置された。
- ・「今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース会合リモートセンシング分科会」による, 「衛星地球観測ミッション」の第2回の公募が開始された。
- ・気象研究コンソーシアムにおける気象庁データ利用制限緩和(参加研究者名をすべて申請するのではなく, 研究代表者が一括して利用申請を行えるようにする等)に向けた気象庁との調整を進めている。また, データに対する doi に関する話題提供を11月14日に気象庁で行う予定。
- ・数値拡散モデルの原子力防災への応用に関するガイドライン作成に向けて, 気象研究ノート執筆を検討しており, 気象研究ノート編集委員会からも承認を受けている。現在目次案を作成したところ。

教育と普及…以下の内容が報告された。

- ・気象サイエンスカフェの今後の予定。
- ・先生のための気象教育セミナーを2020年1月5日に開催予定。地球温暖化と防災に関する教育指導に関する話題を扱う。
- ・2020年度の公開気象講演会について, 共催の川崎市

からの要望で、当初は熱中症をテーマにすることを検討していた。その後、同市は2019年台風第19号による浸水等の被害を受けたため、台風災害の話も含めるよう、再度内容を検討している。

国際学術交流…以下の内容が報告された。

- ・大会2日目(10月29日)に第2回小倉特別講義を、大会3日目(10月30日)に連携セッションを開催予定。また、10月31日に委員会を開催予定。

電子情報…以下の内容が報告された。

- ・会員サイト上での大会予稿集の公開を行った。第2回小倉特別講義の動画も掲載予定。
- ・第41期役員候補者選挙管理委員会からの要望により、選挙管理委員会メーリングリスト作成と、選挙関連のホームページ作成のためのアカウントを発行した。
- ・会員サイトでのセキュリティ向上のための技術的な検討を進めている。

人材育成・男女共同参画…以下の内容が報告された。

- ・外国人会員の増加傾向を考慮し、年内を目途に保育支援ガイドラインの英訳を作成することとした。
- ・産休育休中の学会参加費の減免に関して、理学系・医療系学会の状況を調査した。いくつかの学会で制

度があったほか、休会の制度がある学会もあることがわかった。引き続き委員会で議論を継続する。

- ・女子中高生夏の学校でも配布した会員紹介を秋季大会でも配布することとした。
- ・10月29日にWLB(Work Life Balance)を考える会～女性会員の集いとのコラボ～を開催予定。

3) 大会実行委員長報告

- ・事務局の尽力により、大会の準備ができた。受付手続きの外注は事務の効率化に大きく貢献している。その分中身の濃い大会になっていると考えている。

4) 理事長報告

- ・第41期の役員候補者選挙が近づいている。学会の改善のために努力できる方には是非立候補していただきたい。

2020年2月12日

公益社団法人日本気象学会

理事長 岩崎俊樹

監事 鈴木 靖

監事 高谷康太郎